

サポカー補助は負担無しで

杉村 宏議員

一定の負担はお願いしたい

西垣町長



杉村 サポカー補助は全町民のために全額補助すべきだ。

20年6月に成立した改正道路交通法は、20歳以上のドライバーに対し、自動ブレーキなどがついた安全運転サポート車（サポカー）限定免許の新設などの安全対策が盛り込まれ、警察庁は、22年6月施行を目指している。

町も高齢者ペダル踏み間違い急発進抑制装置設置費の助成を令和3年度から開始し、後づけで個人負担は設置費用の4分の1とする。

自家用車の使用が大変重要である岩美町域において、高齢者ドライバーの安全な運転を向上させる装置の設置は、当該高齢者の利益のみにとどまらず、ご家族、前後車両や、病院やスーパーマーケットの駐車場など、交通環境を共有する全てのドライバーや歩行者など、全体の利益を向上させる。

町長 サポカー補助金は、令和3年度から取り組む。受益者である町民の方にも一定の負担はお願いしたい。

杉村 第8期高齢者福祉計画で、75歳以上は令和3年で213人、町民の19.9%だ。スーパーマーケットに近いと

ころばかりが岩美町ではない。一桁国道などを使われている。病院の駐車場にも来ておられる。そういった方々にペダル踏み間違いが仮にあった場合にも、サポートする車両に乗っていただきたい。

医師宿舎は売却検討を

杉村 宏議員

売却手続きを検討する

小谷病院事業管理者

解体処分が提案された医師宿舎

杉村 医師宿舎は解体の前に売却検討すべきだ。

岩美駅前地区の浦富3号医師宿舎が、築27

年で傾いており、不良物件で解体費は332万円の説明があった。

立地土地の公示価格相当の見込額はどうか。

前田病院事務長 244万円だ。

杉村 土地54万円、解体処分費332万円、差引212万円の価値か。

病院事業管理者 そういう見方もある。

杉村 4,000戸を超える耐震基準に満たない建物が町内にあり、多くの町民が住んでいる。この宿舎は耐震基準をクリアして平成5年に

建築された。なぜ不良物件と言われなければならないのか。

病院事業管理者 10年近く入居実績がなく、千分の6の傾きがあり、健康面で支障が出る。

町の税金も投入した宿舎を、きちんと管理できてなかった。一言おわびを申し上げたい。

杉村 一言の申し訳ない、それで済む問題なのか。土地も含め売却検討をすべきだ。解体するかどうかは、新所有者に判断いただくべきだ。

病院事業管理者 建物と土地を一体とし売却手続を検討し、購入希望がない場合に解体処分し、原状回復して土地所有者に返却する。

その他の質問

下水道対策事業の対策実施をどう考えているか
旧病院等の町営住宅用地利用は熟慮すべき

